

びわこ部 部報 第1号



第29期
2024~2025年度



主 題
 国際会長 チャーミング・シェン (台湾)
 主題 Sunshine and Smile 「太陽の輝きと笑顔」
 アジア会長 ジョウン・ウォン (香港)
 主題 Make a Great Impact 「大きなインパクトを起こそう」
 西日本区理事 鶴丹谷剛(神戸)
 主題 「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
 びわこ部長 岡村遍導(滋賀蒲生野)
 主題 「側隠(そくいん) びわこ部よ!互いに共感し合おう!!!」

側
隠



「側隠(そくいん) びわこ部よ!互いに 共感し合おう!!!」

第29期 びわこ部長 岡村 遍導 (滋賀蒲生野)

びわこ部のワイズメンの皆様こんにちは。
 今期、浅学非才ではございますが、びわこ部長という責任ある大役を仰せつかりました滋賀蒲生野ワイズメンズクラブ所属の岡村遍導です。今期、びわこ部の役員の皆様、6クラブの会長様始め会員の皆様には何かとお世話になりますが、ご教示、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

さて、今期のびわこ部長として部のテーマを「側隠 そくいん」～びわこ部よ!互いに共感し合おう!! ～とさせていただきます。びわこ部も現在6クラブとなり会員増強が思うような結果に結び付かず、各クラブの皆様も心の中で将来のびわこ部の存続に関して心配が募るばかりであるとお察しいたします。よって、今期のびわこ部の活動方針を5つ考えさせていただきます、その方針に従って活動計画を立てさせていただきます。

こ部と同じような悩みを抱き、そして何とかして未来へワイズ活動の思いを伝え、そして混沌とした世の中の希望の光となるようなクラブにされたいことは、こころざしを同じくするワイズメン同時の共通の強い思いであるかと存じます。

まずは、部内のワイズメン同士が「側隠の情」の実践と、「利他」他を思いやり慈愛の心を育むことが大切であると考えております。特に、チャーター以来ご苦勞されておられる高島クラブの活性化、クラブライフの充実を図るためにも、今、びわこ部全体が注視しながら支え合わなければならないと感じております。

びわこ部の会員の皆さん、私の部長としての活動方針や活動計画の詳細に関しては各クラブ様に配布されておりますのでご一読ください。また、各クラブ様への部長公式訪問では大変お世話になりますが、どうぞよろしく願いいたしますとともに、訪問時には忌憚の無いご意見などお聞かせいただきましたならば、評議会を経て、西日本区役員会などで部を代表して発言もさせていただきます。公式訪問では三つの項目にてお話をさせていただきます。

- 一つ目は、「今期びわこ部のテーマについて」
- 二つ目は、「EMCの強化について」
- 三つ目は、「ワイズ伝道について」

三つと言いましたが、実は四つ目もございます。それは公式訪問にてお話をさせていただきます。楽しみにして下さい。

最後に、今期ワイズ同士で共感!楽しく、ワクワク、ドキドキな一年に皆様と共に今期のワイズの道を歩みたく、どうかご協力の程よろしく願い申し上げます。

感謝 *



全体的に総括しますと、部としてEMCの強化、及び部内のコミュニケーション、つまり親睦を深め各クラブの悩みや希望などをクラブ間で共有することこそ大切であり、それを実践する年度になるうかと考えております。京都部は別として、他の部もびわ



「ワイズの存在感を高めよう」

よもやよもや、私がびわこ部部長を受ける日が来るとは夢にも思わなかったのですが、何故かそのような成り行きというか、雰囲気を受けてしまいました。

1997年びわこ部全体で180名が在籍していましたが、現在では82名となり、約100名のメンバーが減少したことになります。悲願であったネックレス構想は高島クラブの設立で実現できましたが、大津クラブ、草津クラブが解散し部としてはマイナス1クラブとなり、メンバー数、クラブ数共に減少傾向にあります。併せて平均年齢も高く、こうした課題を改善するために各クラブが活性化していかなければびわこ部どころかクラブの存続すら危ぶまれます。

私がびわこ部部会で一番思い出すのは、観光船ピ

アンカを貸し切ったの船上部会です。ジャズの生演奏もあり、雰囲気も良くて楽しかったですね。やっぱり美味しい、楽しいは記憶に残ります。次年度びわこ部部長としては、何かしら皆さんの記憶に残ることをやっていきたい。やればいいな。と思っています。ただし、現実を見渡せばどこまでできるのか不安は残りますが、びわこ部全体として無理せず身の丈に合った事業を継続的に実施していければと思っています。

それぞれのクラブには長年培われた特徴があると思います。その特徴を活かして更にジャンプアップした活動を展開していただくことにより、我々ワイズ活動の意義が増すことに繋がると存じます。皆さんと一緒にワイズの存在感を高めていきましょう。

*



「会員増強と新クラブ創設に向けて」

びわこ部 直前部長 渡壁 十郎 (長浜)

昨年の今頃、何をしていたかを振り返ってみると、これがまだ1年前のことだったと思うくらい、色々なことが慌ただしく動いていた1年だったと感じます。部長主題として、今こそ「ワイズ」らしい夢！～びわこ部の存在を取り戻す～を掲げスタートしました。

部の役員会、評議会やZOOMによる会長・主査会議など機会あるごとに、部内でのコミュニケーションや意思統一を図れる場を積み重ね紆余曲折ありましたが、活発な活動に繋がりました。また、西日本区では各部の部長の皆さんと役員会や部会等を通して仲良くなり時には情報交換や意見を交わし楽しく懇談できました。同じ課題や悩みを共通出来たことも、

何よりも励みになりました。また会議終了後は2次会も頻繁に開催し部を超えた交流を楽しむことができました。

新型コロナ感染症も5類に移行し、今期からはワイズ活動も日常を取り戻すべく、びわこ部メンバー1人1人の力を最大限に引き出せるよう「質を高め強固な一枚岩としての再構築」を目指しました。しかしながら後期半年俸では79名と80名すら割るといふメンバー大減少の「まさに緊急事態!!」です。年初の82名+αの目標をあきらめず、岡村びわこ部長新体制と連携を密にし、引き続きびわこ部全メンバーの力と汗を結集することにより、会員増強と新クラブの創設にむけて注力してまいります。*



「2024年度YMCA事業展開とワイズメンズクラブへの期待」

滋賀YMCA 総主事 久保田 展史

2023年度から守山市の指定管理事業で2か所の学童保育事業を受託し運用を開始しました。ここは合わせて約240人のこども達が通う施設です。また2022年度から滋賀県委託の地域に住む外国人への日本語教育事業を新たに展開しています。2024年度はこれらの事業の質をより質を高めてゆく年と考えています。そのためにも多くの人材が必要となっています。そして近年では体育事業での展開が弱まってきています。ここにも新たな人材を投入して復活させてゆく計画です。

行政からの指定管理や委託事業を進める中で、行政の場で「滋賀YMCAさん」と呼ばれる機会が増え、これらのつながりの上により行政や地域の信頼を得て次の新しい展開へと積み上げてゆきたいと考えています。災害時の青年層の一時避難所として近江八幡市とのつながりを強めてたいと思います

また能登半島地震の被災地支援や日米友情人形交

流の滋賀県でのネットワーク構築など、社会や地域に根差した活動も展開してゆきます。

ワイズメンズクラブの皆様にはこれまでと変わらぬご支援を賜りたくお願いいたします。特に

- ①青年たちの活動(リーダー活動)の支援
- ②『YMCA会員を増やす』ためにYMCAの活動を多くの方に紹介していただきたい
- ③若くエネルギーのあるYMCAのスタッフとなるべき人材の紹介(人材獲得)
- ④守山・栗東・甲賀・草津地域での事業展開(学童保育や福祉事業)の紹介への情報提供やご紹介をお願いしたいと思います。YMCAを地域や行政、学校教育とぜひつなげていただければと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。*

岡村びわこ部長を支える事業主査の皆様



「御挨拶」

Y'サ・ユース 事業主査
金澤 芳夫 (彦根シャトー)

今期Yサ事業主査を拝命いたしました彦根シャトーの金澤芳夫です。クラブ内でもYサを担当したことはございませんでしたが、ワイズメンとしては重要な役どころですので懸命に務めさせていただきます。

そして今期から2年の任期でキャンプ場専門委員をYMCAより受任いたしました。コロナ過以降YMCAとの共同事業も、両団体の人員不足もあり縮小されてきましたが、できるだけ交流の機会を設け未来につながる活動にしていきたいと思っております。色々のご負担をかけるとは思いますが、一年間宜しくお願い致します。*



「御挨拶」

地域奉仕・環境 事業主査
前川 幸久 (彦根)

2024～2025年度びわこ部地域奉仕環境事業主査を務めることになりました。2020～2021年度部会計以来4年ぶりの部役員となります。

私のワイズメンズクラブに対するスタンスは、本来自分のクラブの活動には積極的に参加するものの部・区の活動にはどちらかと言えば消極的というところなんです。この度、岡村遍導部長より主査を依頼されましたのでそんな私ですが、皆様方のお力添えで一年間宜しくお願いします。基本的に部内6クラブの現状の活動の把握と部内での周知をベースに今後の活動に対する考え方を共有したいと考えています。各クラブの活動に資することができればと思いますので、ご協力を宜しくお願いします。*



『会員増強に向けて GO! GO! GO!』

EMC 事業主査
松岡 義隆 (長浜)

1. EMC事業主査活動方針

今期は、EMC事業主査とワイズ起こし運動の二刀流でEMC 事業を推進していきたいと思っております。事業主題は『会員増強に向けてGO! GO! GO!』です。前向きに積極的な活動でMCを中心にメンバー増強とワイズ運動の意識を高め会員一人一人が互いに共感しあえるような活動をしたいと思っております。

2. 活動計画

- ・びわこ部EMC シンポジウムの開催
2024年7月27日(土) 15:00～17:00
会場 彦根勤労福祉会館
- ・びわこ部ワイズリーフレットの作成。
- ・各クラブでEMC アワー (プラスワン例会の開催)
- ・YES献金目標一人500円

2024年度の西日本区半年報の後期の会員数は1306名と25年間で500名くらい減少しています。びわこ部は当時200名近いメンバー数でしたが現在79名と減少しています。びわこ部も本当にやばい状況です。例会の持ち方を工夫しながら楽しい有意義な例会開催でドロップ防止にも繋げていただきたいと思います。*



「国際・交流事業主査を 拝命して」

国際交流 事業主査
坂井 繁 (近江八幡)

ワイズの醍醐味は何と言っても「交流」につきると自負しております。交流を通じて親睦を深めそのマグマを奉仕に展開するのがワイズダムと衆知されております。ここ数年コロナ下でなかなか交流が出来なかったのがワイズの力の減少の一因であると考えられます。

さて今期山田国際・交流事業主査は主題として「プラス1でさらなる交流促進を！」と提唱されております。クラブ内においては、ダンス、ゴルフもしくはグランドゴルフ、音楽、写真、釣り、麻雀等といった同好会作りで交流促進、又びわこ部にあってはかつて井之上びわこ部長期に始められた「びわこ部合同新年例会」を復活して交流をさらに深めたいと考えております。

私がびわこ部長期において提唱した「びわこ部はひとつ」の下でびわこ部は無論西日本区・国際間での交流を深めてワイズの活性発展に少しでも寄与できればと願っております。むろん DBC、IBCの交流活発化が必要ですが、DBC、IBC未締結のクラブは是非とも今期は締結の糸口を見つけて下さい。

又 BF献金、EF献金に向けて各クラブは最低でも西日本区の目標を達成してください。国際憲法第1条に「強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う」と提唱されておりますが実践あるのみと考えます。今期一年間各クラブの例会に「交流を求めて」訪問いたしますのでその節は宜しくお願い致します。*

岡村びわこ部長と共に！ クラブ会長の皆様



「愛でつなぐ」

近江八幡クラブ 第76代会長 岡田 弥生

「愛でつなぐ」という主題を掲げて第76期近江八幡ワイズメンズクラブの会長を務めることになり1年間メンバー全員参加のもと奉仕を継続しクラブが未来永劫のものであることを願う坂井直前会長の意志を受け継ぎ、皆でワイズにたくさん触れ、味わい終生のライフワークとして誇りに思えるクラブ運営を図りたい。ワイズメンズクラブに入って出会った方々、また新たに出会うであろう諸先輩方と交流してたくさんの方のことを学びたいと思っています。

メンバーの退会者0 新規会員獲得 メンバー全員参加の第1, 第2例会の魅力あるプログラムを実現、親睦を大事にしてワイズメンズクラブで大いに遊び学び、YMCAをもりあげていきたいと思っています

す。育ててもらった恩返しというわけでもありませんが物心ついた頃から習い事は彦根のY館、夏休みはYMCAのキャンプに参加、私の子供達もキャンプ、スキーに参加してきました。長男は祖父母とアラスカまでオーロラをYMCAの企画で見に行ったりと大変お世話になってきました。

今、私が近江八幡ワイズメンズクラブの会長を引き受けしたことはごく自然の流れであり多分神様が導いてくださったものと信じてこれから1年出来ることを出来るだけ「愛でつなぐ」という理想を忘れず活動していきます。初めての会長という大役です。パソコンに触れるのもほとんど初めてで勉強すること山積みです。御指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくをお願いします。*



「みなさま、手を取り合って 行きましょう！」

彦根クラブ 第73代会長 林 宏一

会長主題は「みなさま、手を取り合って行きましょう！」と、副題は「未来は楽観的で参りましょう。」としました。

さて、現代における最大の炎症要因（つまりほとんどの病気の原因）は、「長期的なストレス」と「肥満」といわれています。身体的重要なストレスホルモンにコルチゾールがありますが、その役割の1つは エネルギーの動員で、もう1つは炎症を鎮めることです。長期間のストレスにさらされるとコルチゾールのレベルが高いまま暮らすことになり、その結果、身体はついには炎症を鎮める能力を失ってしまうそうです。

もう1つの炎症要因である肥満ですが、脂肪組織は単なるエネルギー備蓄ではなく、全身にシグナルを送って免疫系を起動するとされています。身体は脂肪を見知らぬ者と認識（ヒトの進化過程でかつては存在しなかったから？）し、炎症を起こすことで闘いを挑むそうです。

仲間と手を取り合って行動し、社会奉仕活動ができる人が本当の意味で健康であり、他の人を喜ばせることが結果として自分を苦しみから救ってくれるということを再度確認しておきたいと思います。健康であることに感謝しつつ、根拠と準備を持って楽観的に取り組みたいと存じます。*



「23年振りに・・・」

彦根シャトークラブ 第43期会長 小川 恵一郎

23年ぶりに2度目の会長を拝命致しました小川恵一郎です。久方ぶりの会長で身が引き締められる思いですが、クラブメンバーの協力を得て、楽しい例会、楽しい飲み会等無理のないゆとりある例会、自己研鑽の場としての例会を目指し、これから一年間の計画を立てていきたいと思っています。

どこのクラブもメンバーの減少、高齢化が進み、我がシャトークラブも私が会長をしておりました時は約50人近いメンバーを有していたのが、今や18名と約三分の一のメンバーとなっています。

また、最近は新しいメンバーの獲得が出来ておらず、私の代には少なくとも3名の会員増を目指し頑張っていこうと思っています。古い革袋にも新しい赤い色の酒が入れば、見違えるような革袋に変身

するでしょう。

それには、少なくとも現メンバーのドロップを食い止め、魅力ある例会運営を行わなければなりません。今まで栄光の時代にやってきた行事も少なからず見直しが必要と思っております。

わがクラブや長浜クラブが頑張ってきた多賀藤瀬の風の谷キャンプ場ワークも、肉体的働き手の確保が難しくなってきました。多くの船頭も頭数も減り、口数も減ってきている状況では先に不安がありますが、私の身体が続く限りは何とかして維持補修を続け、YMCAの基本である野外活動の場を提供していく所存であります。勿論、わがクラブと長浜クラブだけでなくびわこ部の総力を結集して藤瀬のキャンプ場を守り抜こうではありませんか。

びわこ部メンバーのご協力をお願い致します。*



「会長就任あいさつ」

長浜クラブ
第38代会長 宮本 鉄也

今期初めての会長をお引き受けすることになりました。よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

ワイズメンズクラブは健全な青少年の育成や豊かな地域づくりを目指すYMCA運動を支援し、応援する善意団体であり奉仕クラブです。人との交流から成長し社会に還元し、人との出会いを通して自分自身を磨いていくことが大切だと思います。

そのために他のクラブに学び、新たな交流を増やし自分に足りないものを克服していくことを目標に取り組みます。会長任期の一年出合いと親睦を大切に、仲良く活動していきたいと思えます。

活動方針として

- (1) 楽しい例会になるようにする
- (2) YMCAと協働をする
- (3) 他のクラブや兄弟クラブと交流する
- (4) 会員増強する。

以上メンバーの皆様のご理解と協力をお願いいたします。*

「会長の任期 一年は早い」



滋賀蒲生野クラブ 第35代会長 三原 茂靖

何回会長をしても緊張する6月。7月キックオフ例会。早くより講師を頼み、いざ出陣の日を迎える。今期は岡村遍導びわこ部長を輩出し、部の役員も選出しているので、クラブ活動の人員が少なくなってしまう。そんな中で、他クラブのワイズメンに助けられて、自分らしい一年間をと名がっている。西日本区や国際、アジアの情報もメール委員の働きの基、みんなに伝え、学びたい。一ワイズメンとして部のあり方も学びた

い。YMCAについても同じ。

今期はクラブチャーター35周年になる。DBCの富士宮クラブと合同例会を計画している。まだメンバーで東山荘へ行った事がないというメンバーの為此の計画を来春必ず行いたい。また京都エイブルクラブさんとそのDBC富士クラブさんとも一緒に4クラブDBC大会も計画している。ああや、こうや、計画しているうちに一年が経つ。しっかりこの一年、皆様のご支援を得て頑張りたいです。*

「1年よろしくお願ひします」



高島クラブ 第5代会長 伊藤 文訓

会長主題：

原点に立ち返り・一緒に活動し楽しみましょう

～Let's go back to the origins of Takashima Club and have fun working together～

副題： つながりましょう！つなげましょう！！

Let's connect with club members in the future

2020年2月29日（土）設立総会を行った高島クラブは2025年3月、チャーター5周年を迎えます。設立時の2020年は、1月15日に最初の新型コロナ感染者が日本で確認された後、5月12日までに、46都道府県において合計15,854人の感染者、668人の死亡者が確認され、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行つまり、新型コロナ禍に入ったのです。この影響で予定していた、クラブチャーターナイト（国際協会加盟認証状伝達式）も粛々と行うという船出となりました。

さらに、初代会長の栗本美清ワイズが設立後わずか半年後の9月23日突然逝去され、クラブ全体が今後はどうなるのかという不安と心配に包まれてしまいました。しかし初代会長の意志を受け継ぎ副会長の牧賢範ワイズが、会長を受けていただき、2022-2023年度までの2期半に渡りクラブをまとめていただ

きました。そして2023年-2024年の林俊博会長へと引き継がれました。この間メンバーの大幅減少もありましたが、現在のメンバーのたゆまぬ努力とびわこ部の支えにより今期5周年を迎えることができました。私は20年間お世話になった長浜クラブから今年1月に転籍し、今期から2年間（あくまで予定ですが）会長をさせていただくことにいたしました。

初代栗本会長のクラブ方針：

「いざ出陣！高島クラブPR大作戦」

～伝えようワイズの意義・地域と共に

地道な社会貢献を～

の主旨を振り返り、まずワイズライフを通じて一緒に活動しそして楽しみ将来につなげる、高島クラブにしていけたらと考えています。*

2024～2025年度 びわこ部・西日本区 行事予定表

	2024～25 月	日	びわこ部	日	滋賀YMCA	日	西日本区	
第 2 9 代 岡 村 部 長 期	6月	30	風の谷キャンプ場ワーク					
	2024年 7月	27	第1回評議会 & EMCシンポジウム			20-21	第1回 西日本区役員会	
	8月		◆2024年7月27日15時～17時◆彦根勤労福祉会館			31	西中国部部会	
	9月	8	びわこ部会			7	京都部部会	
		◆2024年9月8日11時～15時半 ◆ホテルニューオウミ (JR近江八幡駅 徒歩5分) ◆プログラム 第1部 一般公開 劇団「Ryu陣」 ミュージカル「がもうの物語」 太子と龍神 ～蘇った呪術師～ 第2部 部会セレモニー 第3部 懇親会 ◆登録費： ¥12,000 (メン・メネット共) ◆申込締切日：8月25日(日)					14	阪和部部会
						28	中部部会	
	10					19-20	第2回 西日本区役員会	
						5	九州部部会	
						26	中西部部会	
	11月					2	六甲部部会	
		10	第2回評議会 & 地域奉仕環境事業 シンポジウム			9	瀬戸山陰部部会	
	12月							
	2025年 1月	25	第3回評議会 & 新年交流会					
	2月			10	近江八幡YMCA 創立118年			
	3月			5	滋賀YMCA創立 75周年			
		15	YYフォーラム	9	YMCA卒業 リーダー祝会			
	4月					12-13	第3回 西日本区役員会	
	5月							
	6月	21	第4回 引継評議会	25	YMCA会員 協議会	14	西日本区大会 & 第4回役員会	